

COVID-19に関するレジストリ研究-多施設共同研究

本学で実施しております以下の研究についてお知らせいたします。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	COVID-19に関するレジストリ研究-多施設共同研究
倫理審査 受付番号	第3519号
研究期間	2020年 5月倫理審査承認日～2024年 3月31日
研究対象情報の 取得期間	下記の期間に全診療科を受診され、 COVID-19と診断された、日本国内の医療機関に入院した方 2020年 1月 1日～2022年 3月31日
研究に用いる 試料・情報	カルテ情報
研究概要	（研究目的、意義） 2019年12月から中国の武漢市で新型コロナウイルスによる肺炎の集団発生が確認されました。新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）には確立された治療法はありませんが、重症例を中心に抗ウイルス薬などの薬剤が投与されはじめています。どのような方が重症化しやすいか、妊婦や小児の患者さんなどにおいてどのような経過をたどるのかなど、多くのことがまだわかっていません。 この研究では、COVID-19と診断された方に参加していただき、重症化する方の特徴や経過、薬剤投与後の経過など、COVID-19に関する様々な点について明らかにすることを目的としています。

（研究の方法）

上記の対象期間中に記録された診療情報（症状、基礎疾患、渡航歴、接触歴、症状の経過等）・ウイルス検査結果などを、研究に使用させていただきます。

（外部への試料・情報の提供）

研究データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。提供されるデータと該当する患者さんを記録しておく匿名化対応表は、該当する患者さんが診療を受けた病院の研究責任者や個人情報管理者などが保管・管理します。研究のデータは、WHOなどの国際的な研究グループと共有する場合があります。その場合、匿名化対応表は提供せず、個人の特定ができない状態で共有します。また、社会的意義がある等の理由で本研究データ利用のための審議で認められた場合のみ、研究データを企業等が利用する可能性があります。この場合も個人の特定はできません。

（研究組織）

＜研究代表機関＞

国立研究開発法人国立国際医療研究センター 大曲 貴夫

＜共同研究機関＞

北海道大学、国立感染症研究所

＜情報提供機関＞

兵庫医科大学病院を含むCOVID-19の方を診療した国内全ての医療機関

（個人情報の取り扱い）

収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

**本研究に関する
連絡先**

兵庫医科大学病院 感染制御部
中嶋 一彦（研究責任者）
植田 貴史（研究担当者）

TEL | （平日 8：30～16：45） 0798-45-6689
（上記時間以外） 0798-45-6111

-
- 1.
 - 2.
 - 3.

[トップページへ](#)
[トップページ](#)
[診療科・部門](#)
[倫理指針に基づ](#)